

2024年7月19日

電通、クリエイティブに特化したDEIコンサルティングチーム 「BORDERLESS CREATIVE」を発足

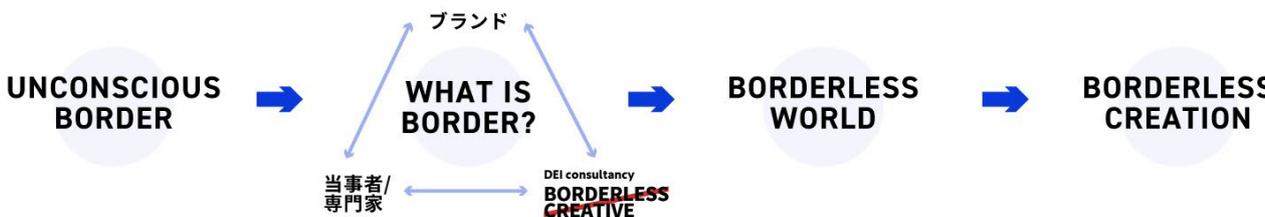
株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：佐野 傑）は、クリエイティブ領域に特化したDEIコンサルティングチーム「BORDERLESS CREATIVE（ボーダーレス クリエイティブ）」を本日発足しました。DEI視点を取り入れた広告企画・新規事業開発を、コンサルティングから実施までワンストップで担います。

DEI consultancy BORDERLESS CREATIVE

DEI（Diversity, Equity & Inclusion）は現代社会においてクリエイティブの最重要テーマの一つです。世界的な評価を受けているクリエイティブコンテンツにはDEI視点を取り入れたものが増えています。一方で、DEIの配慮が欠如していると批判が高まる可能性もあります。社会的にポジティブな評価を獲得するには、NG表現を避けるだけでなく、専門的な視点に基づいた企画が必要です。海外ではDEIのコンサルティングを専門に行う会社が注目されつつありますが、日本ではまだそのような企業・団体が少ない状況にあります。

「BORDERLESS CREATIVE」は、国内では希少な、クリエイティブ領域に特化したDEIコンサルティングチームです。ジェンダーや障害などのDEI領域で知見が豊富にあるクリエイターと、当事者・専門家が連携。独自の「BORDERLESS CREATIVE METHOD」で、見えないボーダー（課題）の発見から企画・制作までにいたる全フェーズで、クライアント企業に伴走します。

BORDERLESS CREATIVE METHOD



私たちの社会は「見えないボーダー」であふれている。しかし、それらはマジョリティにとっては当たり前の存在なので、意識されることは少ない。

ブランド、当事者/専門家、BORDERLESS CREATIVEでセッションを実施。ブランド周辺に存在する「見えないボーダー」を顕在化させる。

ブランドが実現する「ボーダーのない世界」を、電通のクリエイターが、コピーやデザイン、ムービーなどで具体的に提示する。

「ボーダーのない世界」を実現するための広告やプロダクト、IPなど制作する。企画・制作においても当事者/専門家と連携し、クリエイターだけのチームにはできない、多様なアウトプットを実現する、

チームメンバーはこれまで、10以上の業界（総合商社、ファッション、イベント、金融など）のさまざまなDEIテーマのクリエイティブ業務に携わり、数多くの広告賞を受賞してきました。また、社内で開催してきた勉強会では、多くの有識者と議論・対話を重ねてきました。それらを通して培ったナレッジ、当事者・当事者団体を含む関係者とのリレーションを生かして、コンサルティングやマーケティング支援を展開していきます。また、2011年から多様性をテーマにした研究・開発・ネットワーキングに取り組んできた国内電通グループ横断タスクフォース「電通ダイバーシティ・ラボ」とも密に連携していきます。

< 「BORDERLESS CREATIVE」メンバーの過去の取り組み事例>



ITOCHU SDGs STUDIO 「キミのなりたいたいもの展? with Barbie」
SDGs目標「ジェンダー平等」をテーマにした展示を実施。著名人も多数来場し、盛況となった。



「1.31 異彩の日 by ヘラルボニー」

障害のあるアーティストの社会進出をテーマにした屋外広告とデジタルキャンペーンを実施。日本最大級の広告賞である「2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」で、PR部門の総務大臣賞/ACCグランプリを受賞。



ポーラ「鏡を使わないメイクレッスン」

ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」の視覚障害のあるアattendスタッフに向けた「鏡を使わないメイクレッスン」の特別動画を制作。目が見えない方の優れた手指の感覚を生かしたメイクレッスン。

また10月から、宣伝会議コピーライター養成講座で「BORDERLESS CREATIVE」講座を開講予定。チームのクリエイターはもちろん、連携する当事者・専門家も登壇し、広告関係者がDEIを体系的に学ぶための全8回の講義を提供します。

当社は今後もDEIに積極的に取り組み、クリエイティブの強みを生かしたアイデアとコンサルティングで企業のDEI推進をサポートしていきます。

<連携する主な専門家・外部機関>

※下記以外の各種専門機関とも連携を予定しており、今後随時拡大していきます。

■Zebedee Talent

ロンドンを拠点とするインクルーシブ・タレント・エージェンシー。障害者、外見に違いがある人々、ノンバイナリーおよびトランスジェンダーのモデルや俳優が所属している。ハイファッションを中心に世界的なブランドをクライアントに擁し、包括的なキャスティングを推進している。

<https://www.zebedeetalent.com/>

■趙正美（ちょう・ちよんみ）氏

米国在住のソーシャル・チェンジ・プロデューサー。広告会社で戦略プランナーとして勤務後、世界最大規模の国際人権NGOであるHuman Rights Watchにて、日本で初の大規模な寄付を募るファンドレイザーとなる。2019年に米国ニューヨーク本部へ異動、シニア・クリエイティブ・ディレクターとして団体の外部コミュニケーションとブランディングを統括。2022年にフリーランスとして独立、社会変革を起こそうとする企業や個人のプロジェクトを専門にプロデュースしている。現在最も熱心に取り組んでいる領域は、DEIとサステナブル・ファッション。国際人権NGO ヒューマンライツ・ナウNY ボードメンバー。

■高井ゆと里氏

倫理学者、群馬大学准教授。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得満期退学。東京大学／博士（文学）。

訳書にシヨン・フェイ「トランスジェンダー問題－議論は正義のために」（明石書店、2022年）、テレサ・ソーン&ノア・グリニ「じぶんであるっていいかんじ」（エトセトラブックス、2024年）、著書に「トランスジェンダー入門」（共著、集英社新書、2023年）、「トランスジェンダーQ&A－素朴な疑問が浮かんだら」（共著、青弓社、2024年）、「トランスジェンダーと性別変更」（編著、岩波書店、2024年）など。

■一般社団法人 ダイアログ・ジャパン・ソサエティ

2011年設立。ソーシャルエンターテインメント事業「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」「ダイアログ・イン・サイレンス」「ダイアログ・ウィズ・タイム」やビジネスワークショップを通して、誰もが対等に対話することで協力し信頼し安心して社会参加ができる、多様性のある社会の形成および発展に寄与することを目的としている。

2020年8月には上記プログラムを体験できるダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」をオープン。

<https://djs.dialogue.or.jp/>

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 事業広報部

田中、宮田

株式会社電通 BORDERLESS CREATIVEチーム

橋口、阿部、長谷川、前田、中西

株式会社電通クリエイティブフォース

岩佐

Email : jigyokoho@dentsu.co.jp